

不易流行

～和賀組社長からのメッセージ～

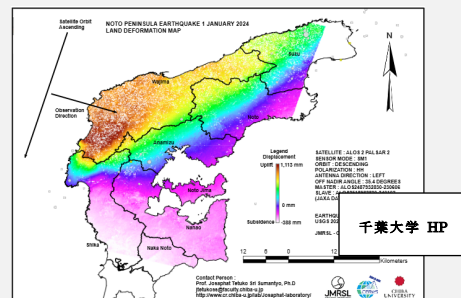
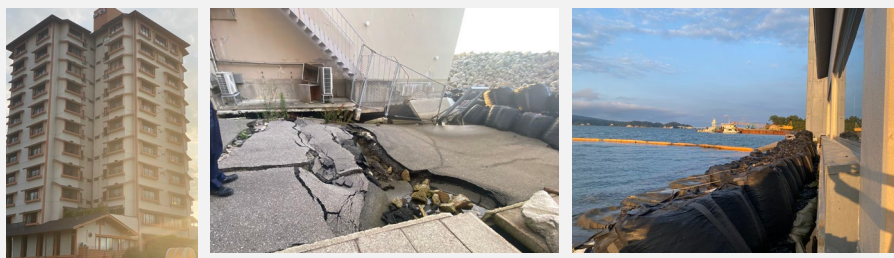
VOL.112 (2025.7.25)

令和7年度スローガン
新たなるステージへの挑戦
～和賀組さんで良かったと言われよう～

株式会社和賀組 代表取締役 和賀幸雄

2024年1月1日16時10分、能登半島地震が発生しました。1月27日に防災科学技術研究所が公表した震度は、輪島市・志賀町のほか七尾市、珠洲市、能登町、穴水町においても震度7相当の揺れが発生したとされています。関連死を含めた死者行方不明者は512名、負傷者1,300名以上、建物被害は15万棟以上という大災害でした。また忘れてならないのは昨年9月21日の能登豪雨によっても大きな被害が発生したという事です。

7月8日～9日発災後初めて被災地石川県を訪問致しました。七尾市役所では茶谷市長、市議会では山崎議長、七尾商工会議所では杉野会頭ともお会いすることができました。訪問前に能登島に渡り西へ進んで中島町に入り南下、七尾湾を半周する形で状況を見て参りました。比較的被害が少ないと言われている七尾市ですら、道路の凹凸はいたるところで見られ、ほとんどの宿泊施設が被災した和倉温泉では一部で公費解体が進んでいるものの、当地を代表する加賀屋の様に昨年元旦の発災から時が止まったように手つかずの施設も多くありました。特に驚いたのは半島東側の沈降がひどく、七尾湾に面した一階の露天風呂が売りの温泉施設はほとんどが浸水しており、海側から解体作業の重機を搬入する事ができない為、岩石を搬入して海岸を形成する工事が行われておりました。能登市や珠洲市といった奥能登地域はまだまだ道路すら完全復旧していない状況で、限られた宿泊施設も工事関係者でほとんどが抑えられているとの事でした。右下の図は千葉大学が調査したもので、左上が隆起して右下が沈降したことが良く理解できます。復興応援の為に観光することで被災地を支援したいとの想いを抱いている方も少なくないと思いますが、まだまだ先の事だと実感して参りました。



大阪万博

6/25 住宅経営研究会のメンバーで視察の機会が有りました。



「待ち時間の無い万博」というコンセプトでしたが、駅からセキュリティゲートを抜けるまで1時間以上、人気のパビリオンは3時間以上の待ち時間。日本のパビリオンは全て予約が必要で入場できませんでした。これから行ってみよう

と計画されている方、かなり体力が必要です。

ユニオン建設安全大会

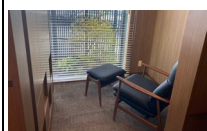
7/1 池袋メトロポリタンにて開催され、当社は安全管理への取組が優秀との事で感謝状を頂いて参りました。熱中症による事故を防ぐ留意点は ①体調が優れないと自覚が有った場合は躊躇せず上長に申告する ②同僚の様子がおかしいと気づいたら躊躇せず上長に報告する



③声掛けをして反応が不明瞭だったら躊躇せずに救急車を手配する。大事な事です！！

仙波眼科医院

7月11日、徳島県北島町で開業前の「仙波眼科医院」を見学する機会を頂きました。今後高齢化が進むと確実に白内障患者が増加、手術数も大幅な増加が予想され、全国的な開業の増加が見込まれるが、建築費の高騰が問題となっております。眼科医や専門家の知見を取り入れ木造大空間を実現した理想的なクリニックを設計施工した藤本氏の説明は説得力があり、今後の



取組に大いに期待したいと感じました。左は術後の回復室で航空機のファーストクラスをイメージしたとの事でした。